

やまなしの青少年

題字：大澤英二会長

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町 517 番地 山梨県立青少年センター内 電話：055-287-6415 FAX：055-237-5312

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~ikusei> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp



目次

- 少年の主張山梨県大会 1
- 同大会最優秀賞紹介 2
- 県民会議活動紹介 3
- シリーズ
子ども若者の
底力を信じて 4・5
- ルポ・健やかに育て
山梨の青少年 6
- ・市町村民会議紹介
・一人で悩むの、もう
やめよう 7
- ・読者投稿欄
・賛助会員紹介
・強調月間・編集後記 8

「少年の主張」山梨県大会開催

最優秀賞に奥山史帆さん

平成21年度「少年の主張」山梨県大会が8月29日(土)、県立青少年センターの多目的ホールで開かれ、応募総数551点の中から原稿審査で選ばれた15人の中学生が気迫のこもったすばらしい意見を発表しました。会場には多

くの人が訪れ、中学生たちの真剣な訴えに耳を傾け、熱い声援を送っていました。

15人の中学生の主張は「少年の主張」山梨県大会「発表記録集」として、近く発行されます。

大会結果

最優秀(山梨県教育長賞)	奥山 史帆さん(長坂中3年)	「いのちの重さ」
優 秀(山梨日日新聞社賞)	内田 美智さん(塩山中3年)	「夢を叶える」
優 秀(NHK甲府放送局長賞)	若尾 萌さん(北東中3年)	「言葉で伝える命の大切さ」
優 秀(山梨放送賞)	道村 奈朋さん(葦崎東中3年)	「私を変えた言葉」
優 秀(テレビ山梨社長賞)	原 由華さん(上野原中2年)	「私の青いビー玉」
優 秀(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)		
天野結生さん(大月第一中3年)「まずは大人がお手本を」	清水隆之さん(北東中3年)「地球を救うために必要なこと」	
上條裕次郎さん(上野原中2年)「読書にある可能性」	高松優子さん(葦崎西中2年)「同じ世界の仲間として」	
木下愛加里さん(葦崎西中2年)「私たちの意識で救える命」	千頭和知恵子さん(甲西中3年)「地球へ届け」	
久保怜椰さん(甲西中3年)「私たちの対策」	林 聖海さん(葦崎東中3年)「誰かのために」	
坂本結麻さん(笛川中2年)「脳死と臓器提供」	原田真衣さん(増穂中2年)「八丈島での自然の中の体験から」	

平成 21 年度「少年の主張」山梨県大会最優秀賞

いのちの重さ

長坂中学校 3 年 奥山 史帆



奥山史帆さん

6 月のある日の新聞の一面に『脳死は人の死』可決」という大きな見出しが躍っていた。また、「子供の臓器提供を容認」とも書いてあった。

私は 11 歳の時に「臓器提供意思表示カード」というものを記入した。たまたま母について行った病院の受け付けで見つけ、看護師である母に、何の為のものなのかを尋ねた。臓器移植とは、自分が死んだ時に、病気で生きていくことが困難な人の為に、まだ使える自分の臓器を移植して使ってもらって、それを、このカード一枚に記入さえすればできるのだと聞いた。自分が死ぬ事を考えると悲しくなるが、私の命が他の人につながっていく。体は灰になっても、一部はその移植をした人の為に生き続けることができるのだ。私はこのことに深い感銘を受け、自らカードに記入した。さすがに自分の眼球が取り出されるのは恐ろしく、眼球だけはバツをつけた。真剣に考え記入したが、年齢制限があったことは後で知った。

現在の臓器移植法は 1997 年 6 月に成立したもので、施行後 3 年たったから見直される事になっていた。しかし、ごく最近まで改正されていなかった。その為、脳死臓器移植等の数が増えず、日本の移植医療は他国に比べ遅れてしまった。手術を待っている方は、12,000 人にも上り、その間にも亡くなってしまう方も多いと言う。

日本では手術ができず、海外の最先端の医療に希望をたくす人もいる。しかし、最近では、増え続けている日本人排除の為、渡米移植費の値上げがされるようになったという。医療費や前払い金は億単位で、募金等を募らない限り、普通の人にはとても払えない額だ。アメリカの医療機関が外国人を受け入れるのは、年間移植件数の 5% までで、そのうちのほとんどが日本人だそう。

今回の改正案は、脳死を人の死とし、15 歳未満の臓器提供が可能になるという内容だ。ドナーを待ち続けている方々は、この採決を見て拍手をした。しかし、一方で脳死と判定された方の家族からは、怒りや、悲嘆の声も出た。脳死は薬や人工呼吸器等で心臓を動かして、二度と健康な体に戻ることにできない状態だが、成長し続けている脳死状態の子

供もいる。その子供の母親の言葉が忘れられない。「この子は延命ではなく、こういう『生き方』をしているのです。」と。

可決前の法律では、民法上の遺言可能年齢を参考にし、臓器移植の意思表示ができるのを 15 歳以上と定めている。私は 11 歳の時に自らの死について意思表示をしようとした。そして今でもその時の気持ちは忘れていない。

ニュースで、国会での採決の様子を観た。その時、私は怒りで体が震えた。私語や居眠りをしている不真面目な大人達に、こんなにも重大な事を決めてほしくはない。私達日本の国民は、お互いにもっと議論をたたかわせてこの問題と向き合うべきである。

死を見つめ、考えることは、生を見つめることにつながる。脳死は人の死だろうか。体は生きている我が子を死んでいると認められるだろうか。また、移植した臓器が他人の“いのち”とともに生きていたら、“いのち”を引き継いだことになるのだろうか。どの議論についても今の私には結論は出せない。

臓器移植には、十人十色の意見がある。結論を急ぐよりもまず、考えることが大切だ。10 数年間、棚上げされてきた法律だからこそ、今、一人一人の問題として真剣に考えたい。今回の法改正をきっかけに、まず家族全員で話し合ったり、周囲の人々と語り合うことから始め、議論の輪を広げて行きたいと思う。

大堀修己審査委員長講評（要点）

（山梨県教育委員会社会教育課長）

「臓器移植」という社会問題を真正面から真剣に向き合い、よく見つめ、深く考えている。また、柔軟な発想と共に、中学生らしい倫理観や正義感、規範意識、あるいは思いやりの精神にあふれた訴えである。

文章として論点も整理され、論旨も整えられていると共に、内容も大変充実している。加えて、自らの体験や見聞に基づいて展開されており、聴く人の心をうつ、大変素晴らしいものであった。更に、弁論も落ち着いていると共に、声量・速さ・抑揚などの表現方法も適切であり、若者らしいさわやかな主張であった。

特に良かったところとして、物事を広く見つめ、自分なりに受け止め、自分が何をするか、自分はどう関わるのか、自分のできることは何かなど、自分に置き換えて考える、自分の考えに基づく率直な意見交換など、が印象に残った。

平成21年度『知事をかこむ小中学生のつどい』

未来の山梨の担い手である小中学生が、山梨県への理解を深めながら、ふるさと山梨を愛する心を培うために、知事をかこんで山梨県の将来像を語り合う「知事をかこむ小中学生のつどい」が、8月7日(金)に県立青少年センターで開催されました。

当日は、甲府市内の小、中、特別支援学校の児童生徒47人が参加し、「私が描く未来の山梨」をテーマに横内正明知事をかこみ、活発な意見発表、質問等が行われました。

つどい当日は、山梨県、甲府市、知事についての問題に知事が正解を出す、クイズが行われました。クイズでは、ぶどう、ももの生産といった郷土にちなんだ問題や知事の趣味などの問題が出題され、おおいに盛り上がりました。また、「知事とみんなで語ろう」では、山梨の環境問題、医療・福祉の問題、農業の振興の問題など、参加児童生徒からは多くの質問、意見が出され、横内知事は一人ひとりの質問に丁寧にユーモアを交えて答えていました。

意見発表では、中沢恵理さん(山城小学校)が、人々の生活の利便性と自然豊かな山梨県をテーマに発表を



しました。三宅初音さん(甲府北中学校)は、環境問題と事故のない安心安全な地域づくりをテーマに発表をしました。野澤幸男さん(盲学校)は、日常生活を通して障害者に優しい社会の推進と将来の夢を発表しました。どれも素晴らしい発表でした。これらの意見発表者一人ひとりに対して、知事がメッセージを送りました。最後に、知事との懇談、記念写真の撮影を行い、有意義で思い出に残るつどいは、幕を閉じました。

「青少年の非行問題に取り組む県民大会」開催



「青少年の非行問題に取り組む協調月間」(7/1～7/31)の一環として、青少年の非行に対する理解と認識を深め県民総ぐるみの青少年健全育成運動を一層推

進するため、青少年育成山梨県民会議(会長 大澤英二)と山梨県青少年総合対策本部(本部長 横内正明知事)は、平成21年7月16日(木)に甲府市総合市民会館にて「きびしさとやさしさと摘む非行の芽」をスローガンに平成21年度「青少年の非行問題に取り組む県民大会」を開催しました。

大会では、吉田高等学校及び甲府東高等学校の生徒による意見発表やメディアジャーナリストの渡辺真由子氏が「深刻化するネットいじめ その現状と大人の役割」と題し講演を行いました。大会には、教育関係者及び青少年育成関係者など約500人の参加があり、大会宣言が採択され、参加者全員でこれからの家庭や地域における青少年の健全育成と非行防止について考えました。

子供や若者が
主体的に取り組む
社会体験や
自然活動などを
紹介します

子ども若者の

青少年健全育成の啓蒙活動と実践活動

都留市青少年育成カウンセラー

奥平 正純

青少年育成都留市民会議では、「青少年を非行から守る強調月間」、「全国青少年健全育成強調月間」の青少年健全育成活動の一環として青少年の健全育成に関わる作文、標語を募集しています。

市内の小学校、中学校、高校及び一般市民に応募を呼びかけ、提出された作品のうち優秀作品は毎年11月に開催する「青少年育成推進大会」で表彰を行い、市の広報誌で紹介します。文章は「作文・標語集」の冊子を発刊し各学校をはじめ関係者に配布します。また、標語の部の最優秀作品については、A4サイズのチラシを作成し、市内全家庭に配布することにより、青少年健全育成の啓蒙活動を広く推進しております。



実践活動では「チャレラン大会」(チャレンジラング大会)の実施があります。この大会

は、都留市9地区の内8地区で実施しています。近年、地域、近隣の大人、子ども同士の関係が希薄になって、



地域の教育力が低下してきたとされています。地域の大人が大会実施の諸準備を行い、異年齢の子供達が楽しみながら簡単な競技を競うこの大会は、忘れかけられている近隣の絆を作る機会を提供する貴重な場であるとも言えます。

今後も、青少年関係の機関・団体とともに青少年の健全育成を目指し、家庭・学校・地域などの広い分野で、青少年育成活動の盛り上げを推進していきたいと思っております。

ジュニアリーダーの活動

甲府市青少年育成カウンセラー

大浦 慧子

青少年ジュニアリーダー活動は、30年以上の伝統を持ち、中学生・高校生・青年が地域の中で自分を育て地域づくりに貢献する甲府市独自の青少年活動です。

+ジュニアリーダーは、年間五回の研修会(講演会 レクリエーション活動 ボランティア活動 各地区美化清掃活動 意見発表会)や各地区のイベントへ参加し、他校の生徒と交流し、地区の方々と協力して地域づくりに努めています。これらの活動と並行して4月11日に行われた信玄公祭りにおいては、高校生40名が甲州軍団武田24将の山3番隊原隼人佑昌胤隊を構成し、ジュニアリーダーの存在を大いにアピールしました。



6月21日の第一次研修会においては、甲府市民会議より、中学生59名・高校生228名・青年1名、計288名の青少年ジュニアリーダーが委嘱されました。その折、宮島雅展市長は励ましの言葉の中で、委嘱されたジュニアリーダーに、東洋と西洋の「思いやり」の考え方や社会人になったときにリーダーとして活躍できる5つの資質「知力・説得力・態度・指導する

意志・自己制御能力」について話されました。全員、真剣に耳を傾けており、リーダーとしての意識が見られました。

7月12日の第二次研修会にはレクリエーション活動を実施しました。80名の参加者一人ひとりが「レクリエーション活動」の理論と実技を学ぶ中で、人との交流やお互いにコミュニケーションを図ることの必要性などを強く感じる事ができたと思います。参加した生徒たちの感想にも、多くの人との交流を深めることができ、本当に楽しく有意義な研修会だったと好評でした。

今年度も第三次研修会を計画したところ、ジュニアリーダー187名の参加を得ました。研修会の内訳は昨年同様、駐輪場の整理と清掃活動及び放置自転車への取り組み ユニセフ募金活動 老人ホーム交流訪問 日赤心肺蘇生法講習 入門介護実習 手話研修の6講座です。

塾や受験勉強、部活動等で多忙な青少年にとって、地域行事への参加は難しく、地域住民だけでなく青少年の間の結びつきもますます細く弱いものになってきています。しかし、各地区の育成部長さん方の熱心な働きかけにより、多くのジュニアリーダーが参加しています。育成部長さん方には心から感謝しております。

底力を信じて

みんなで地域社会づくりを
考えていきましょう

守ろう！ 大事ないのち —地区内の道路で学ぶ— 御坂町尾山育成会の取り組み～

笛吹市青少年育成コーディネーター

鈴木 洋子

子どもの交通事故をなくすためには、交通ルールやマナーをくり返し教え、どのような場面にどのような危険があるのかを子ども自身に理解させ、自分で安全な行動をとれるようにすることが大切であり、保育園や学校などあらゆる場で交通教室を実施しています。

御坂町尾山地区では広域農道金川・曾根線が通っているため、「ヒヤリ！ ハッと」の経験をすることが多くあります。そこで子どもたちに実地学習をすることが、交通事故から身を守る知識を伝える場として一番効果があるとの思いから、育成会が中心になって交通教室を実施しています。子どもたちの行動が活発になる4月下旬、子どもたちと保護者、交通安全協会の役員が公民館に集まり、歩行の仕方を学んだり、自転車の点検をしたり、自転車の乗り方を学んだりします。その後、区内の道路の所要所に安協の役員と保護者が立って指導します。また小学校入学前の3月は、保護者・新入学児童と一緒に通学路を歩いて指導しています。

そのほか地区内の道路上で危険と思われる箇所を子ども

たちと確認して「とび出しま線」の白線を表示しています。

御坂町内各育成会がそれぞれ工夫をして交通教室を実施していますが、これから子どもたちの安全安心な環境づくりに地域ぐるみで取り組んでいきたいと思いを。



手づくり教室おもちゃばこ&つくってあそぼう！

北杜市青少年育成カウンセラー

山主 美香

【手づくり教室おもちゃばこ】



日野春駅前の公民館やオオムラサキセンターに子どもたちが集まり、一緒に宿題をしたり造形活動や外遊びを楽しんだりしています。夏休み中はお父さんたちが来てくれる日もあ

ります。保護者でもある米原さんが運営し始めて今年で6年目。参加する子どもたちや保護者が徐々に増えて、活動そのものが育ち続けています。より多くの地域の方に活動を知っていただくために、7月14日、青少年育成長坂地区民会議において、主宰の米原さんが実践発表しました。現在も北杜市役所長坂総合支所内の青少年健全育成コーナーに写真を展示しています。

【つくってあそぼう！】

わくわく教室ながさか・ながさか図書館・長坂教育センター・青少年育成長坂地区民会議が連携して、7月・8月中に5つの工作教室を実施しました。葉っぱのスタンプ・リサイクル工作・紙飛行機・ソーラーおもちゃ・ピカピカ土だんごを作って楽しみました。長坂町内の4つの小学校からそれぞれ参加者が集まり、子どもたちも大人も、新しい仲間ができて活動の幅が広がる機会となりました。



亡き夫の夢、一坪図書館の開放



森田起子さん

えるように...。」

笑顔でそう語ってくれたのは、森田起子（たつこ）さん。『森田文庫』の開設者である。とっても穏やかで、「あの方が言うのなら...」と地域の人たちから信頼されている人。包容力があり、行動力のある人。それが森田起子さんである。

一坪図書館『森田文庫』の開設

起子さんが図書館を開いたきっかけは、夫の一さんが病床でおっしゃっていた「退院したら本を整理したい。みんなに本を読んでもらえる場所を作りたい。」という願いを叶えたいと思ったからだそうだ。そして、そこがお年寄りから子どもまで、みんなが気軽に集まれる憩いの場になれば、と考え、夫の49日の法要の折に子ども達に話し、早速行動に移したのである。

森田さんの敷地内にあった二階建ての物置を、一階は図書館に、二階は多目的ホールとして活用できるようにと改装。地域の方々の応援もあり、新益には森田文庫として完成していたのだそうだ。



森田一氏とは

ところで、夫の森田一（はじめ）氏であるが、南部町役場に勤務し、助役を務めたのを最後に、2001年3月退職。現職中は、主に社会教育関係の仕事に力を傾注され、町民と常に触れ合ってきた人である。厳しさと優しさを兼ね備えた人で、役場の中では“ムーさん”と皆から慕われ、人望ある人であったが、惜しくも退職後、わずか5ヶ月で他界された。

読書を好み、若い頃から文学全集やエッセーなどを購

入し、約5千冊収集されている。

憩いの場の中で

図書館には、森田一さんの蔵書が整然と並べられているだけでなく、利用している子ども達や地域の方々を持ち寄ってきた本や、この図書館の存在を知って、是非ここにおいて欲しいと寄贈された貴重な絵本などがあり、蔵書は少しずつ増えている。子ども達が好きな漫画本も一角を占めている。

下校後の子ども達が遊んだり、宿題をしたり、そしてもちろん本を読んだり、と利用している。開設当時より訪れる子どもの数は減少しているが、新たに、中学生になった子どもが、他の小学校からきた子どもを誘ってきたり、中学生になってから来るようになった子どももあり、交流を深める場にもなっている。

特に厳しい決まりがあるわけでも、監視人がいるわけでもなく、入口近くにある“張り紙だけのお願い”に書いてある最低の決まりを守り、楽しいひと時を過ごしているのである。たとえば、自分のゴミは自分で持ち帰る、など...。子どもたちはここで生活の中で、自由のありがたさを知ると同時に、ごく自然に、自発性や社会性を身に付けているのである。



人と人との交流の場として

森田文庫では、月に1回、土曜日の午後、「和楽座」の朗読会が開催されている。地元の平原永理子さん達朗読劇団の仲間が中心となり、参加者も、詩の朗読などに気軽に参加できるような企画もある。

二階のホールは、普段は大人の人に開放され、お湯を沸かしてお茶が飲める、自由に使える場所であるため、主婦の集まりなどに利用されている。時間制限も、難しい使用規定も無い場所だけに、皆が互いに責任を持って使っていることに、森田さん自身、感謝しているとのこと。そして、12月末には皆で自主的に大掃除をしてくれるのだそうだ。

内船歌舞伎の練習場ともなっているこの場所は、子供同士はもちろん、親同士が、大人と子供が交流でき、心も体もリフレッシュできる貴重な場所となっている。

南部のあじさい公園に続く道沿いにある『森田文庫』へ、あなたも一度立ち寄ってみませんか！

（増穂町青少年育成カウンセラー 樋口高子）

地域を支える市町村民会議

その
プロフィール

上野原市民会議

【会長】 江口 英雄 氏

【設立】

平成 17 年 7 月 28 日
(平成 17 年 2 月に上野原町
と秋山村が合併し上野原市と
なったため)

【会員数】

各種 16 団体の関係者

【事務局】 上野原市上野原 3832

上野原市教育委員会 社会教育担当内

【目的】「地域の子どもは地域で育む」ことを育成活動の根幹として、家庭、学校、地域、関係機関及び関係団体が連携し、一体となって未来の担い手である青少年の健やかな育成を図ることを目的とする。

【青少年への期待】 社会の一員として、主体性や他者への思いやりを持った、心豊かな人間として、夢や希望に向かって、たくましく成長していくことを期待する。

【地域の大人へ】 人と人との温かい触れ合いが、「子どもの心を優しく、豊かに育む」ことを大人一人一人が意識し、地域の子どもたちに温かい声を掛けていただきたい。

【事業の概要】 広報誌「青少年育成上野原市民会議だより」の発行 青少年の非行問題に取り組む市民大会の開催 非行防止作文の募集(社会への提言として市民大会で発表) 育成活動を活発に行っている優良団体の表彰(市民大会で) 「家庭の日」「青少年を育む日」の広報啓発活動(ポスターの掲示とチラシの回覧及び、(株)UBC テレビにて呼びかけ) 有害環境浄化活動(白ポストの回収・社会環境調査) 非行防止活動(祭典パトロール 5 回) ジュニアリーダー研修会・北都留子ども交流会の実施 青少年育成会子どもクラブ中央球技大会の開催 家庭教育講演会の開催 地域の伝統行事伝承活動(地区ごと)

【今後の目標】「大人が変われば、子どもも変わる」と言われていることから、大切な子どもたちの健全育成は、市民(大人)に課せられた責務であることを市民一人一人がしっかりと認識して、一体となって育成活動の積極的な推進を図っていききたい。



江口英雄会長

鯉沢町民会議

【会長】 古郡 浩 氏

【設立】

昭和 43 年 5 月 25 日

【会員数】

各種団体・機関の長とその関係者 89 名

【事務局】

鯉沢町 1639 - 1

鯉沢町教育委員会 社会教育係内

【目的】

青少年問題のもつ重要性にかんがみ、広く町民の総意を結集し、町の施策に呼応して次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする。

【青少年への期待】

青少年が、地域のボランティア活動などへ参加し活動することによって、自らが地域社会の一員であると自覚することは、地域に対する愛着心や誇りを持つことにもつながります。地域の諸活動へ積極的に参加してほしい。

【地域の大人へ】

「地域の子どもは、地域で育てる。」という理念を実現するためには、青少年の健全育成に対して、地域の持つ力を活用することが重要です。このため、地域住民の自主的・自発的な取り組みを願います。

【事業の概要】

青少年育成推進員の活動促進

青少年健全育成大会の実施

地区パトロールの実施

有害図書等自動販売機の「3 ない運動」

(買わない、見せない、置かせない)

スポーツ・文化活動を通して青少年の健全育成を図る

【今後の目標】

生活様式の変化や地域社会の人間関係が希薄になっていくなかで、大人を含めた様々な年代の人たちが参加し、青少年が主体的に活動できる場を充実するよう推進していく。



古郡 浩会長



ひとりで悩むの、もうやめよう

学校のこと、家のこと、友だちのこと...誰にも悩んであるよね。ひとりで考えていても解決できないことや、誰にも相談できないこともあるよね。そんな時は気軽に電話をかけてきてね。きっと、あなたの力になれるから。



名 称	電話番号	開設時間
中央児童相談所	055(254)8617	月~金 8:30~17:00
都留児童相談所	0554(45)7835	月~金 8:30~17:00
ヤングテレホンコーナー(甲府・吉田)	055(235)4444(甲府) 0555(22)4444(吉田)	月~金 8:30~17:00
電話相談 (いじめ・不登校ホットライン (総合教育センター教育相談部))	055(263)3711	24時間いつでも対応します。
チャイルドラインやまなし	055(228)2030	日曜日 18:00~21:00 第2・4金 16:00~20:00
山梨いのちの電話	055(221)4343	火~土 16:00~22:00

読者の声 私はこう思う

こどもの安全を守る

こどもの安全を守るには、登下校時のパトロール、もしもの時の防犯ブザー、これまでの犯罪者はどんな人であったか原因を探ることが重要だと考えていた。しかし、立正大学教授 小宮信夫先生の「犯罪機会論」では、犯罪者は犯罪を成功させるために場所を選び、物理的・心理的に入りやすく見えにくい場所で犯罪は起こっている。このことを踏まえ子どもの目線に立ち、子どもと地域の人々による『地域安全マップ作り』が有効である。地域を一緒に歩きながらマップを作ることにより、入りやすい場所、見えにくい場所を子どもに理解させ、危険予測、被害防止の能力を高める。そして地域の人々との絆を深め、犯罪の起こりにくい町づくりを進めることが大切であり、現にイギリスでは公園なども犯罪機会論に基づき整備されているとのことである。

子どもの安全を守るためには、大人の私達が地域の一員であることを再認識して、ごみや荒れた場所のない地域を皆で作ることが重要だ。それが子どもだけではなく、地域全体の安全を守ることに繋がるのではないだろうか。

北杜市 依田智子

読者の声欄に投書を

本誌では、青少年の健全育成について読者欄を設けています。下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。

〒400・0811 甲府市川田町 517

山梨県立青少年センター内

青少年育成山梨県民会議「やまなしの青少年」担当

FAX 055・237・5312

11月は 青少年健全育成強調月間です！

毎年11月は、全国青少年健全育成強調月間です。昭和53年に定められ、青少年育成国民運動の一層の充実と定着を目指しています。

この月間中には、青少年の健全育成を進めるための諸活動が、全国で繰り広げられますが、本県でも、県下各地で集中的に行われます。

月間中の主な活動等

山梨県青少年総合対策本部と社団法人青少年山梨県民会議では、11月に次のような活動や事業を実施しています。

1. 青少年健全育成推進大会

青少年健全育成功労者表彰、シンポジウム

11日(水)午後1時半～

会場：県立文学館講堂

2. 青少年健全育成街頭広報活動

街頭キャンペーンの実施

上旬 午後2時～3時

会場：未定

平成21年度 賛助会員の皆さん (敬称略・順不同)

賛助会員は、当県民会議の活動に賛同して篤志寄付をしていただく個人や団体の皆さんです。

個人会員

上	矢	智	幸	笛吹市
大	澤	英	二	甲府市
小	池	三千雄		甲府市
小	宮山		要	甲府市
新	谷	義	一	山梨市
辻		英	夫	甲斐市
中	山	澄	子	北杜市
仁	科	松	雄	大月市
野	口	富美子		甲府市
望	月	久	男	身延町
山	口	宗	正	富士河口湖町
渡	辺		正	山梨市
渡	邊		弘	甲府市
笠	井		勲	甲府市
堤		光	男	甲斐市

企業会員

(株)アピオ	昭和町	日東物産(株)	甲府市
東京電力(株)山梨支店	甲府市	HOYA(株)長坂工場	北杜市
(株)テレビ山梨	甲府市	日本通運(株)山梨支店	甲府市
山梨県建設業協会	甲府市	山梨トヨタ自動車(株)	甲府市
(株)ネサステクノロジ甲府事業所	甲府市	山梨ヤクルト販売(株)	甲府市
(株)早野組	甲府市	清水工機(株)	南アルプス市
(株)吉字屋本店	甲府市	(株)三愛印刷	甲府市
(株)オギノ	甲府市	(株)サンニチ印刷	甲府市
サントリー酒類(株)白州蒸留所	北杜市	(株)甲府明電舎	中央市
都留信用組合	富士吉田市	山興(株)	中央市
古河電工業業電線(株)甲府工場	甲府市	(株)長田玉夫商会	甲府市
富士観光開発(株)	富士河口湖町	ネットヨク山梨(株)	甲府市
三井金属鉱業(株)葦崎事業所	葦崎市	(株)合同タクシー	甲府市
山梨信用組合	甲府市	近畿日本ツーリスト(株)甲府支社	甲府市
(株)はくばく	増穂町	山梨県民信用組合	甲府市
(株)マルアイ	市川三郷町	(株)SPARK	昭和町

編集後記

去る8月29日「少年の主張」県大会が開催され、15名の中学生の気迫のこもった素晴らしい意見発表会でした。私も審査に当たりましたが、「今の中学生はダメだ」とよく耳にしますが、発表は鋭い感性と新鮮な主張で、表現・態度も素晴らしく、甲乙つけがたい審査となりました。将来を見据えての主張から、これからの社会の一翼を担う決意が感じられ、安心しました。

私が推めている『県子どもグループワーク研究会』では、この夏

本栖湖畔で2泊3日の自然体験活動リーダー養成研修会を開催しました。県下の高校生・大学生が30数名参加し、今までにない質の高い内容で、キャンプを通じて野外活動の素晴らしさを体験しました。

この参加者は学校や地域のリーダーとして県下に「子ども遊び」の普及の足掛りとなる一歩を踏み出す機会を得たことと思います。

広報委員長 笠井 勲